

R7年度「臨海資源科学演習」

2025年9月4～8日に実験所で合宿の「臨海資源科学演習」を開講しました。本実習は、広島大学生物生産学部の「水圏フィールド科学実習Ⅱ」と合同で開催しており、岡山大学、山口大学、鳥取大学、島根大学、香川大学、愛媛大学から1～3回生の9名のほか、広島大学から14名の学生が参加し、計23名でフィールド実習を行いました。実習では、水産実験所に隣接する干潟、潮間帯磯場、沿岸海域の多様な環境において各環境に生息する生物の調査、観察を通じ、瀬戸内海の豊かな生物相とそれを支える多様な環境を十分に実感してもらえたものと思います。また、ウニを用いた発生実験にて受精からの動物発生 of 進行を観察も行いました。

来年度も開講予定ですので興味のある学部生の皆様、他大学の先生や学生と交流を深めつつ夏の瀬戸内海を体感できるこの実習をぜひ受講しに来てください！！

瀬戸内海特有の広く干出した自然干潟での生物採集実習



運が良ければカブトガニに出会えることも



他大の仲間と交流を深めつつ協力して生活し、実習成果をまとめていくのもこの実習の特色です



ウニの放卵放精を皆で待ち構える様子

